



「継続は力なり」

今年も、夏休み前後で学校や関係機関との連携支援会議が多く行われており、私も参加をする機会がありました。支援会議はその子の関わる機関が集まり、様々な議題で情報交換や話し合いが行われます。定期的に開催がされるケースもあり、4~5年会議が続いているお子さんもいらっしゃいます。

支援会議の目的として、大きく4つあります。

- ① 支援者同士が顔の見える関係性になる⇒今後の連携がしやすくなります。
- ② それぞれの場所での子どもの姿の共有⇒同じ子もいれば、全然違う姿を見せる子も…
- ③ 子どもの強み（ストレンクス）や課題となっている部分に対して、それぞれがどの様にアプローチをして行くのか⇒手段や方法を合わせる事もあれば、あえて違うやり方をする事もあります。
- ④ その子の成育歴及び将来像（5年後・10年後の姿）の確認。ある程度の方向性を合わせて行く。

①～③まではどの支援会議でも一般的に行われていく流れになりますが、④に関しては意識して議題に組み込まないと行われな事が多いです。支援会議のほとんどが学校や相談支援専門員が主催となり進めて行くのですが、私が会議の進行をするケースや事前に打ち合わせが出来る時には、④の部分の議題に入れてもらう様にしています。

理由としては、子どもを取り巻く環境（主に人）は年度毎に変わって行くケースがほとんどです。学校や支援機関でも資料としての情報は引き継がれていても、成育歴がエピソードとして伝えられる事はなかなかありません。また、子どもの将来像に関しても同様に、支援者が変わるたびにイメージの共有が必要になってきます。

私たち福祉の役割はその部分が大きいのだと考えています。支援機関が増えたり、年度で担任の先生が変わったり、就学・進学に伴って学校が変わったりと、子どもの生活の中では様々な変化が訪れます。その時に、子どもの情報を引継ぎながら、子どもの将来像を共有する事で、支援に一貫性を持って継続させる事が大切です。

会議の1番の目的は「子どもが大人になった時にどの様な姿になっていてもらいたいか」を確認・共有をする事です。その上で、その目的を達成する為に今何をするのか？その子の強みや課題や困り感（本人及び周りの人たち）にどう向き合っていくのかが、みんなで話し合われると良いなと思いつながりながら会議に臨んでいます。

児童通所課 嵯峨憲司



キッズサポートにじいろ 活動報告

にじいろ狭山活動紹介

7月17日(月) 祝日プログラムで六都科学館へ行きました。館内に入る時少し緊張しましたが、さまざまな不思議体験を皆で楽しみました。夏休みに入りました！航空発祥記念館、児童館、二木の菓子、といろんなところへ行き、夏休みを満喫しています！



気候も最高潮に暑くなっていますが、にじいろ入間では、7月17日(月)に「にじいろプチ夏祭り」を行い、更に暑い一日を過ごしました！お祭りにちなんで、昼食は、焼きそば、フランクフルト、からあげ、フライドポテト、おやつにかき氷をご用意させて頂きました。ゲームはスーパーボールすくい、輪投げ、ワニワニパニックを行い楽しんでくれていました。今年はオリジナルうちわの制作も行い、好きなシールを貼って持ち帰って頂きました。



にじいろ入間活動紹介

教材紹介

～教材名～ カップでキャッチ

転がる玉の動きを目で追いながらカップでボールをキャッチする活動です。

- ・目で見た情報に合わせて手を体を動かす。
⇒一度に二つの機能を連動させる、運動機能の練習にもなります。
 - ・友達の動きを見ながら玉を転がす、キャッチする、など相手に合わせる、コミュニケーションの練習にもなります。
- 玉の数を一個にしたり、2個にしたり、楽しみながらのトレーニングです。



※新システムHUGへのログインのご協力、ありがとうございます。
操作方法のご質問等、ございましたら、お気軽にお問い合わせください。